

# 2018年3月期 第2四半期 決算概要

2017年11月8日

三菱UFJリース株式会社

- I** 2018年3月期 第2四半期決算概要
- II** 2018年3月期 業績予想
- III** 中期経営計画の進捗
- IV** 附表

## 業績の全体感

### <経常利益>

- ◆ 昨年立ち上げた国内子会社の実績拡大や、好調が続く航空事業の増収が寄与。売電事業等の受取配当金増加や低水準の与信コストも後押しとなり、経常利益は前年同期比6.1%増加。

### <契約実行高>

- ◆ 海外の非日系取引やグローバルアセット事業が順調に拡大した結果、国内単体での前年同期に実行した大口の不動産融資や太陽光のリース契約等の落ち込みを打ち返し、前年同期比0.8%増加。

### <グローバルアセット>

- ◆ 航空機や航空機エンジンが好調を維持し、ポートフォリオの回転も順調に進む。一方で、海上コンテナは収益の回復が遅れる。

## トピックス

- ◆ 社会インフラ事業では、単体で2号案件まで成約。JII※も初案件を受注。実績の増加に伴い、業界での認知度とパイプラインが拡大中。
- ◆ グローバルアセット事業では、北米貨車リース事業が今後の本格展開を見据えて事業の基盤固め。(有人拠点の開設と業界経験者を外部から招へい)



**2018年3月期 第2四半期  
決算概要**



2018年3月期 業績予想



中期経営計画の進捗



附表

(金額単位: 億円)

	2018/3期 第2四半期	前年同期比(増減)		前年同期比 (増減率)	2017/3期 第2四半期	
			内、為替影響			
1	売上高	4,335	+297	+3	+7.4%	4,037
2	売上総利益	791	+36	+1	+4.9%	755
3	営業利益	430	+8	+0	+2.1%	422
4	経常利益	470	+26	+0	+6.1%	443
5	※1 四半期純利益	316	+25	+0	+8.6%	291
6	契約実行高	7,245	+58	+9	+0.8%	7,187
7	※2 中間配当金	7円50銭	+1円25銭	-	-	6円25銭
8	為替換算レート(*1)	\$1=112.37円	-	-	-	\$1=111.81円

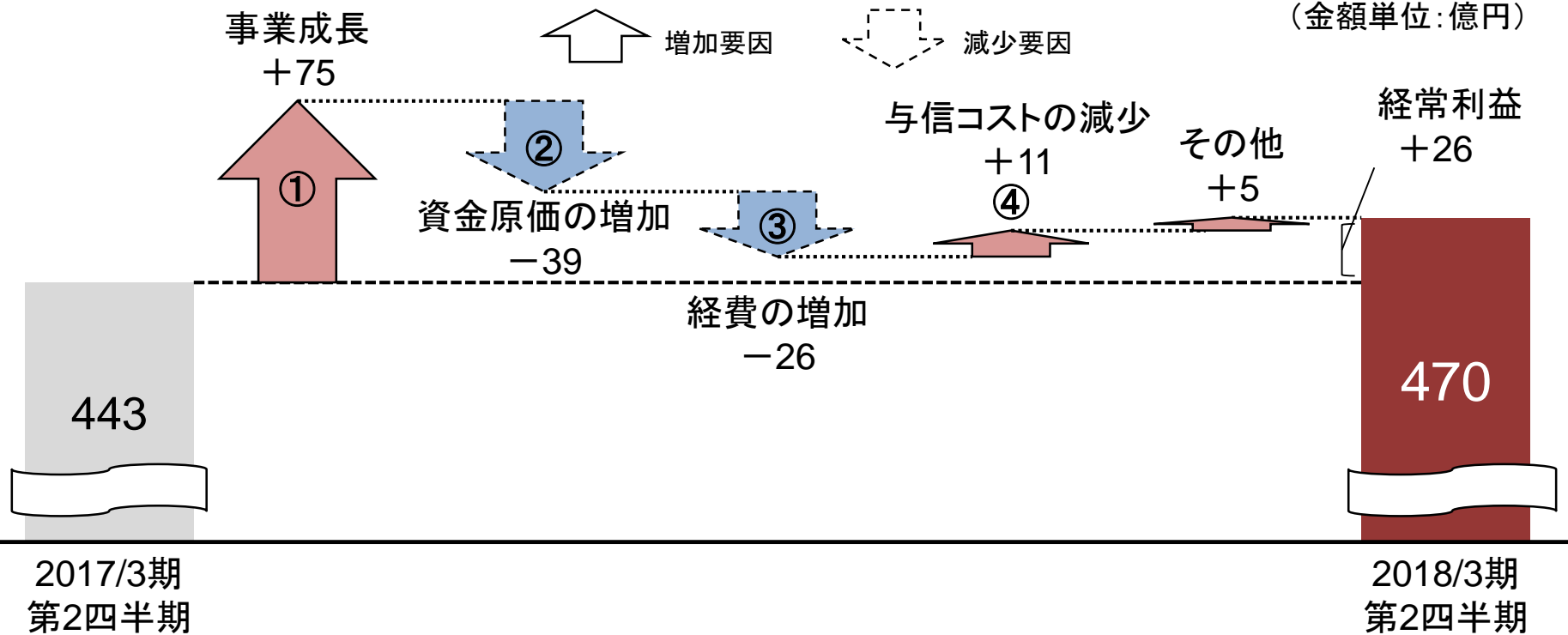
\*1: 海外子会社の損益計算書適用レート

9	営業資産残高	48,616	※3 -148	-620	※3 -0.3%	※4 48,765
10	為替換算レート(*2)	\$1=112.00円	-	-	-	\$1=116.49円

\*2: 海外子会社の貸借対照表適用レート

※1: 親会社株主に帰属する四半期純利益    ※2: 一株あたり中間配当金    ※3: 営業資産残高は前期末比    ※4: 2017/3期

(金額単位: 億円)



① 事業成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各セグメント(単体・国内子会社・海外子会社)の収益は前年同期比で伸長。</li> <li>✓ 航空機や不動産等のアセット関連損益はマーケット環境に大きな変化なく、資産回転も順調に進む。</li> <li>✓ コンテナ事業は、当初見通しより収益の回復が遅れる。</li> </ul>
② 資金原価	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ドルを中心に資金原価は増加。</li> </ul>
③ 経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内新規連結子会社増加と海外子会社の経費増加で、前年同期比増加。</li> </ul>
④ 与信コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 全体として落ち着いた状況。</li> <li>✓ 国内や船舶関連で引当金の戻入13億円が発生。</li> </ul>

(金額単位:億円)

<取引種別>		2018/3期 第2四半期	前期比 (増減率)	2017/3期 第2四半期	コメント
1	リース	3,591	+6.2%	3,380	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ファイナンスリース、オペレーティングリース共に、輸送用機器が牽引。</li> <li>✓ 産業・工作機械、土木建設機械も堅調を維持。</li> </ul>
2	ファイナンスリース	2,334	+0.5%	2,324	
3	オペレーティングリース	1,256	+19.0%	1,056	
4	割賦	487	+6.3%	457	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内の不動産関連や一般営業貸付が前年同期の大口実行の反動により減少。</li> </ul>
5	金融・その他	3,166	-5.4%	3,348	
6	ファクタリング	946	-1.8%	963	
7	不動産関連	504	-11.3%	568	
8	その他融資等	1,715	-5.5%	1,816	
9	契約実行高 合計	7,245	+0.8%	7,187	
<国内外別>					
10	国内	5,359	-7.7%	5,806	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 国内全体の落ち込みは、金融・その他(不動産関連)が主因。</li> <li>✓ リースは、前年同期に太陽光を含む環境関連等で大口実行があった反動により減少。</li> </ul>
11	リース	2,290	-3.3%	2,369	
12	割賦	487	+6.3%	457	
13	金融・その他	2,582	-13.3%	2,978	
14	海外	1,885	+36.5%	1,380	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 航空機リースをはじめとするグローバルアセットは堅調を維持。</li> <li>✓ 非日系向けへの取り組みが奏功し、一般拠点も順調な積み上がり。</li> </ul>
15	一般ファイナンス	924	+58.7%	582	
16	グローバルアセット	960	+20.4%	798	
17	契約実行高 合計	7,245	+0.8%	7,187	

(金額単位: 億円)

<取引種別>		2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期 第2四半期	前期末比 (増減率)
1	リース	23,572	29,258	30,408	32,720	32,442	-0.8%
2	ファイナンスリース	14,057	14,476	14,803	15,147	15,187	+0.3%
3	オペレーティングリース	9,515	14,782	15,604	17,572	17,255	-1.8%
4	割賦	2,273	2,340	2,458	2,529	2,532	+0.1%
5	貸付・その他	14,328	13,810	13,397	13,516	13,641	+0.9%
6	営業資産残高 合計	40,174	45,409	46,264	48,765	48,616	-0.3%

<国内外別>

7	国内	31,601	31,181	31,474	32,085	32,085	-0.0%
8	リース	17,269	17,529	18,145	18,559	18,482	-0.4%
9	割賦	2,273	2,340	2,458	2,529	2,532	+0.1%
10	貸付・その他	12,057	11,309	10,869	10,996	11,070	+0.7%
11	海外	8,573	14,228	14,790	16,680	16,531	-0.9%
12	一般ファイナンス	2,163	2,454	2,265	2,581	2,947	+14.2%
13	グローバルアセット	6,410	11,774	12,525	14,099	13,583	-3.7%
14	営業資産残高 合計	40,174	45,409	46,264	48,765	48,616	-0.3%



- ✓ 全体として前年同期比3億円の戻入増加となるなど、落ち着いた状況。
- ✓ 単体は個別引当金の戻入が発生。
- ✓ 海外子会社では船舶関連等で戻入が発生。

(金額単位: 億円)

<単体・子会社別>

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
1 単体	43	-28	26	-29
2 国内子会社	11	1	23	4
3 海外子会社	-6	19	45	21
4 総貸倒関連費用 合計	48	-8	94	-4

2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前期比 (増減額)
-24	-11	+13
1	4	+3
13	-6	-19
-9	-13	-3

<個別・一般別>

5 個別	75	17	95	0
6 不動産関連	51	-16	29	-6
7 製造業	14	8	-1	-1
8 運輸関連	-12	7	31	16
9 その他	22	18	36	-9
10 一般	-27	-25	-1	-4
11 総貸倒関連費用 合計	48	-8	94	-4

-2	-9	-7
-1	-3	-2
-9	-4	+5
13	-4	-17
-5	2	+7
-7	-4	+3
-9	-13	-3

- ✓ ドル調達強化のため、144A/Regulation Sでのドル建て社債を初めて発行し、米国の投資家へも販売が可能となる。
- ✓ 海外事業の更なる拡大に向けて、外貨の安定調達に注力。

(金額単位: 億円)

		2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期 第2四半期	前期末比 (増減率)
1	借入金	19,529	22,180	21,694	23,951	24,055	+0.4%
2	円貨	14,475	14,309	14,189	14,494	14,230	-1.8%
3	外貨	5,054	7,871	7,504	9,457	9,825	+3.9%
4	CP	7,623	8,300	8,536	8,359	8,805	+5.3%
5	リース債権流動化	1,644	1,735	1,688	1,374	1,311	-4.6%
6	社債	6,047	6,887	7,168	7,735	8,622	+11.5%
7	円貨	4,531	3,975	3,850	4,520	4,796	+6.1%
8	外貨	1,516	2,912	3,318	3,215	3,826	+19.0%
9	合計	34,844	39,103	39,087	41,420	42,795	+3.3%
10	直接調達比率※1	44.0%	43.3%	44.5%	42.2%	43.8%	+1.6%
11	外貨建て調達比率※2	18.9%	27.6%	27.7%	30.6%	31.9%	+1.3%

※1: 全調達に占めるCP・リース債権流動化・社債の割合

※2: 全調達に占める外貨による調達の割合



2018年3月期 第2四半期  
決算概要



2018年3月期 業績予想



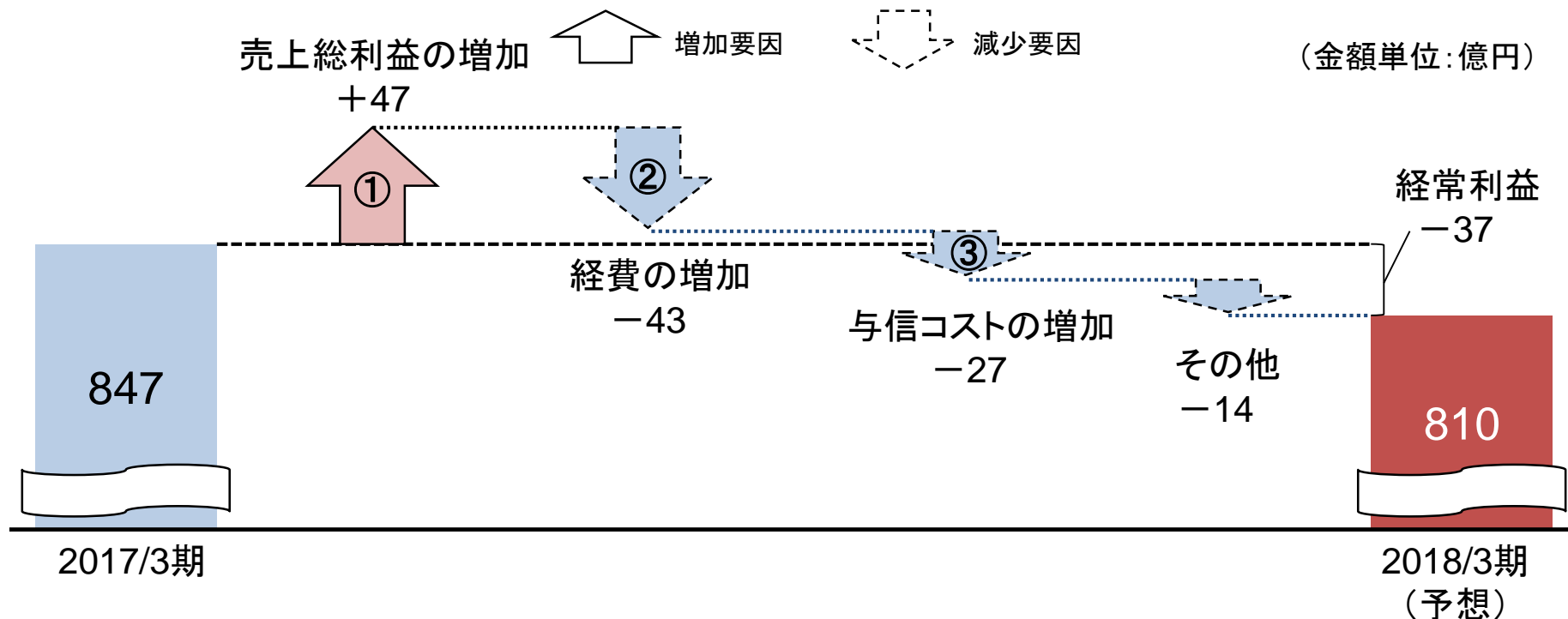
中期経営計画の進捗



附表

(金額単位:億円)

		2018/3期	前期比 (増減)	前期比 (増減率)	2017/3期
1	売上高	8,300	-88	-1.1%	8,388
2	売上総利益	1,550	+48	+3.2%	1,502
3	営業利益	790	-1	-0.1%	791
4	経常利益	810	-37	-4.4%	847
5	親会社株主に帰属する 当期純利益	535	+4	+0.6%	531
6	一株あたり配当金	15円00銭	+2円00銭	-	13円00銭



①売上総利益	<p>(増益要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新設国内グループ会社の利益貢献やグローバルアセット子会社の利益拡大等</li> </ul> <p>(減益要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ アセット関連損益の減少や単体収益の落ち込み等</li> </ul>
②経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新設国内グループ会社の通期連結に伴う費用の増加</li> <li>✓ グローバルアセット子会社における人件費の増加(主にインセンティブ)</li> </ul>
③与信コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 期初予想の引当額から変更なし</li> </ul>



2018年3月期 第2四半期  
決算概要



2018年3月期 業績予想



**中期経営計画の進捗**



附表

全体方針

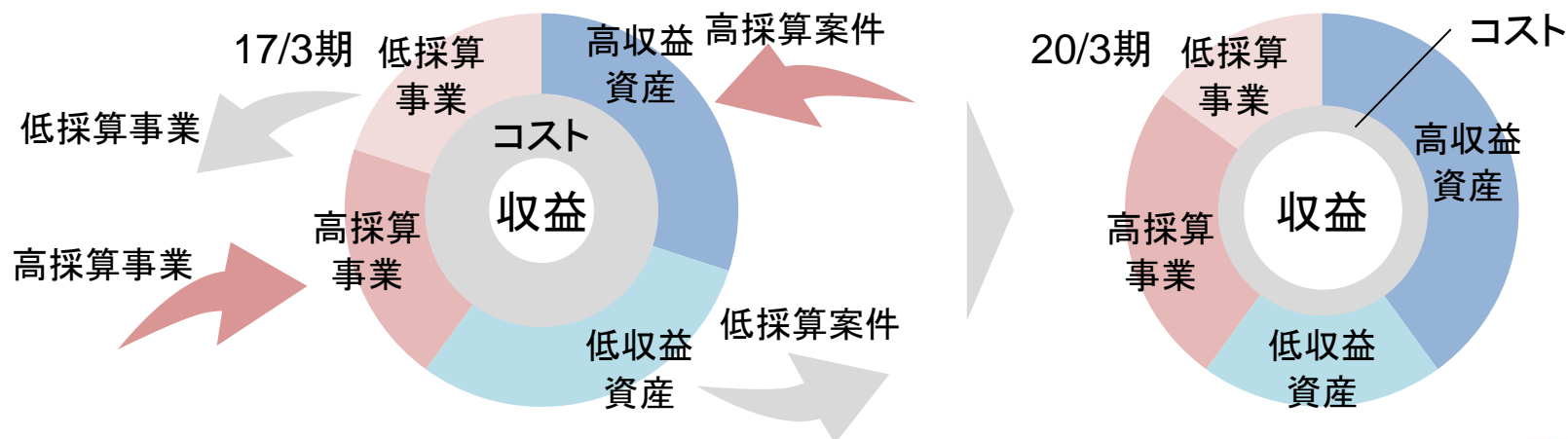
1.“金融と事業の融合”

金融と事業を融合させることで、社会的課題の解決と収益力向上の両立を目指す。

ビジネスモデルの進化	コーポレートファイナンス	アセットファイナンス	サービス提供	事業参画	事業運営
概要	ノンバンクならではの柔軟なファイナンスを提供	アセットの価値をベースにオペレーティングリースを推進	お客様のアセット価値向上に関するサービスを提供	パートナーと事業リスクをシェアし、配当でインカムゲインを獲得	多様な機能等をコーディネートし、お客様の事業価値を向上
取り組み手法	ファイナンスリース、割賦、融資等	グローバルアセット、不動産流動化等	中古機器売買、アセットマネジメント事業等	再エネ発電、社会インフラ投資等	不動産再生・地域エネルギー供給等の事業

2.“トップライン経営※”と“効率経営”の両立 ※売上総利益の増大を目指す経営方針

「資産拡大により利益を拡大させる」という発想を超え、資産の有効活用により利益拡大・コスト削減と資産効率/リスク・リターン向上の同時実現を目指します。



岩盤のコーポレートファイナンス事業は維持。アセットファイナンスやサービス提供のほか、事業参画・事業運営により収益の一層の拡大を図る。

新中計期間の収益構造の推移イメージ

対応するビジネスモデル

新中計での収益計画

資産入替えに伴う  
エクイティ売却益

事業運営  
(主にマジョリティ出資)

バリューアップ型アセットマネジメントによる売却益獲得も狙う

配当  
サービスフィー

事業参画  
(主にマイナー出資)

安定的な配当に加え、  
売却益を獲得

アセット関連収益  
(アセット売却益含む)

サービス提供

収益源の多様化・収益額の  
拡大を目指す

アセットファイナンス

前中計から続く収益の柱として、  
一層の収益拡大を目指す  
(結果として売却益も獲得)

金利等収益

コーポレートファイナンス

岩盤事業として収益を下支え  
すべく、前中計の収益規模を維持

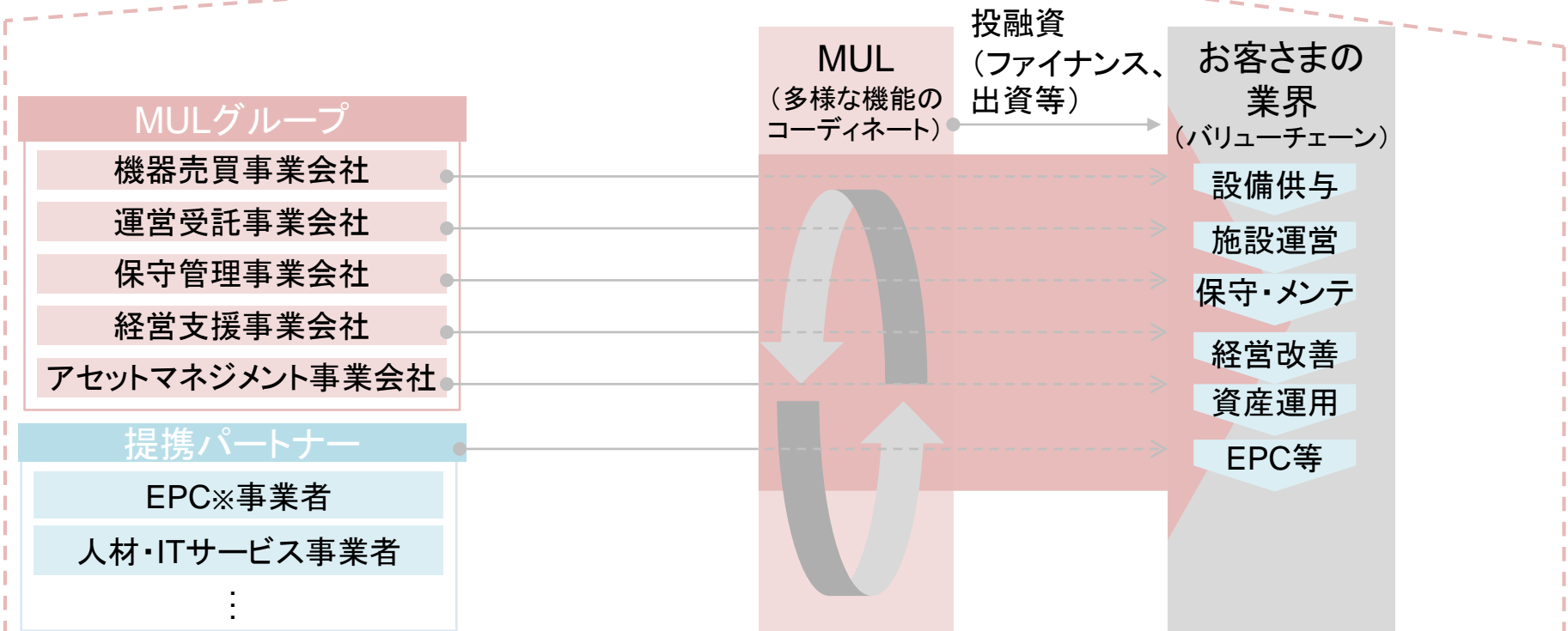
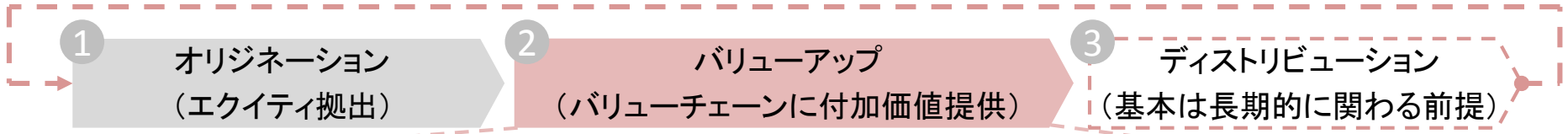
17/3期

20/3期



当社グループや提携パートナーの持つ多様な機能・ノウハウをコーディネートし、お客さまの業界におけるバリューチェーンの事業価値向上により深く関与していく。

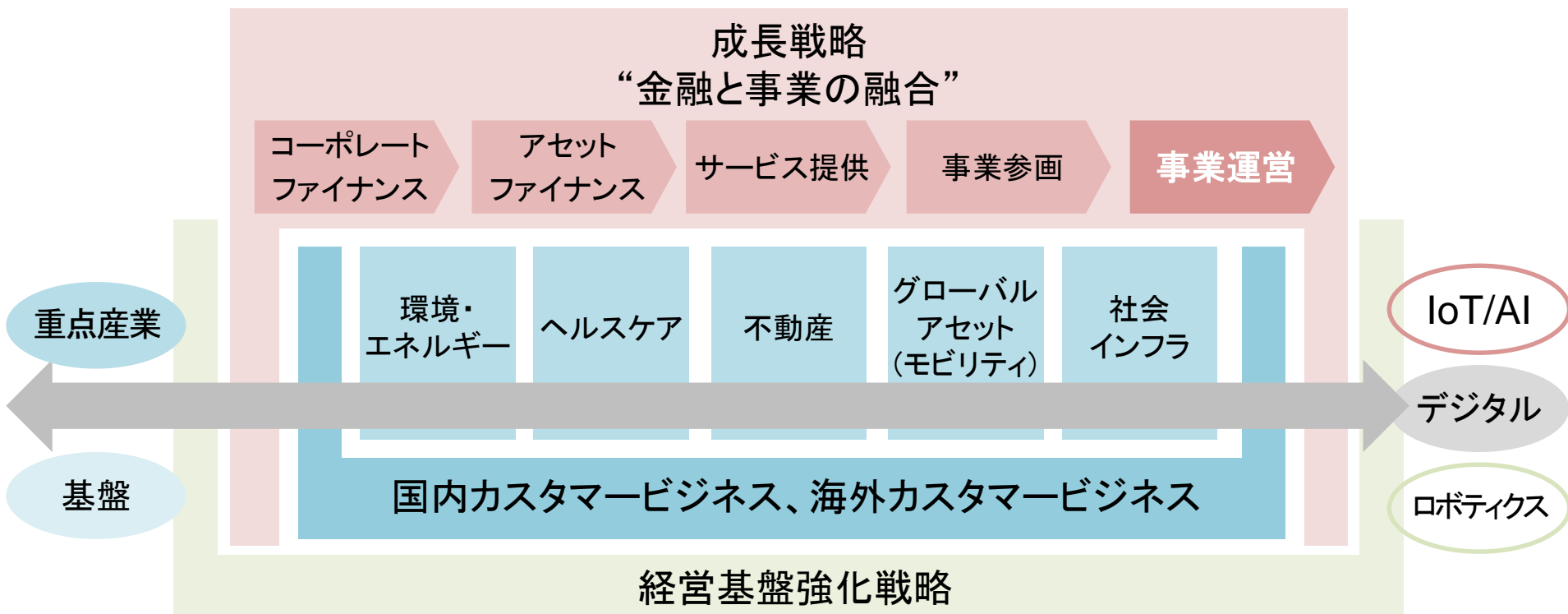
事業運営のイメージ



※Engineering(設計)・Procurement(調達)・Construction(建設)の略称

# Breakthrough for the Next Decade

～今を超え、新たなる10年へ～



計数目標

連結当期純利益  
630億円以上

連結ROA(純利益ベース)  
1.1%以上

重点産業分野	主な進捗
<p>環境・エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 太陽光発電ビジネスの展開 ⇒ 有力パートナーとの大口案件の実績が積み上がる。</li> <li>◆ アセットマネジメント・ファンドビジネスの拡大 ⇒ MULエナジーインベストメントの取組実績増加。取り組みを通じてアセットマネジメント力および事業運営能力のノウハウを蓄積。</li> </ul>
<p>ヘルスケア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グループ連携でソリューションを一括提供 ⇒ グループ子会社との連携により、ヘルスケア施設を対象とした不動産関連業務の取り組み高度化。</li> <li>◆ 投融資一体型のソリューション提供 ⇒ 第3号ファンド(トリニティヘルスケアⅡファンド)の本格始動。</li> </ul>
<p>不動産</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大型物流施設の開発案件や不動産再生投資事業への取り組み強化 ⇒ マルチテナント型物流施設、大型ホテル再開発事業に着手。</li> <li>◆ 海外不動産ファイナンスの展開 ⇒ 米国での不動産事業の取り組みを本格化。</li> </ul>
<p>グローバルアセット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 航空事業付随業務の取り組み ⇒ 航空機エンジンのパーツアウト事業に参入し、航空事業のビジネス領域を拡大。</li> <li>◆ 北米鉄道・貨車リース事業の拡大 ⇒ 今後の事業拡大に向け、プラットフォームとなる有人拠点(MUL Railcars)を設立。</li> </ul>
<p>社会インフラ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 海外社会インフラビジネスの着実な実績 ⇒ ドイツ: 海底送電線事業参画、アイルランド: 風力発電事業参画</li> <li>◆ ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ ⇒ イギリス: 鉄道インフラ事業 第1号投資案件成約</li> </ul>

北米貨車リース事業の進展 ～MUL Railcars (MULR) のオフィス開設～

- ◆ 今後の本格的な展開に向けて、北米での鉄道貨車リース事業のプラットフォームとなる有人拠点を開設。
- ◆ MULRのPresident & CEOに、北米貨車リースビジネスの経験豊富なJames T. Sharp氏を招へいし、営業体制を強化。



北米貨車リース事業者トップ10入りに向け、着実に事業基盤の整備を進める。

航空機エンジン・パーツアウト事業へ参入 ～INAV Group (INAV) と合弁会社を設立～

- ◆ MULグループのEngine Lease Finance (ELF) が、航空機エンジンのパーツアウト事業を行うINAVと合弁会社を設立。
- ◆ ELFと合弁会社との一体経営により、事業領域を拡大させ、整備会社やエアラインとの関係強化を推進。



航空事業のバリューチェーンにおける事業領域を拡大

MULの社会インフラビジネスへの取り組み

MUL初の海外発電事業参画

- ◆ 風力発電事業者であるエヴァレイアー社へ双日グループ、関西電力グループおよびMULの3社で出資(MUL出資比率6.7%)
- ◆ アイルランドの固定価格買取制度に基づき、長期に渡り安定収益が見込める取り組み



実績の増加に伴い、インフラ業界における当社グループの知名度は向上し、案件パイプラインは大幅に増加。

2017年9月 JII※第1号案件成約  
イギリスの高速鉄道主要路線と駅の操業・メンテナンス事業への参画(P.21)

※ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ

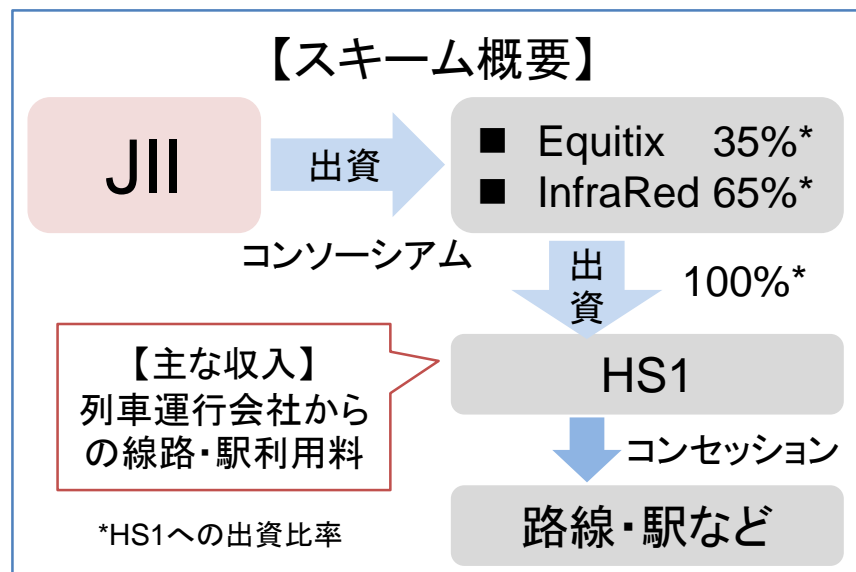
2017年7月 第2号案件成約  
双日グループ・関西電力グループと共同で、アイルランドの風力発電事業に参画

2017年4月 第1号案件成約  
中部電力と共同で、ドイツの洋上風力発電所向け海底送電事業に参画

2016年4月  
インフラビジネス室を新設

ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ（JII）の成果 ～第1号案件成約～

内 容	英国鉄道インフラ事業への出資
出 資 先	High Speed 1 (HS1※) ※ロンドンと英仏海峡トンネル間の 線路109kmと駅舎4駅の運営を行う コンセッション会社
出 資 額	75百万ポンド
出 資 時 期	2017年9月



St Pancras International Station



Domestic Route



業界内でのプレゼンス向上・MULグループ社会インフラビジネスの拡大



2018年3月期  
第2四半期決算概要



2018年3月期 業績予想



中期経営計画の進捗



附表

(金額単位:億円)

＜取引種類別＞		2018/3期 第2四半期	前期比 (増減率)	2017/3期 第2四半期
1	リース	3,591	+6.2%	3,380
2	情報関連・事務用機器	590	-5.4%	623
3	産業・工作機械	572	+8.1%	529
4	土木建設機械	194	+30.6%	148
5	輸送用機器	1,004	+22.5%	820
6	医療機器	266	-4.5%	279
7	商業用およびサービス機器	341	-14.4%	398
8	その他	622	+7.1%	581
9	割賦	487	+6.3%	457
10	情報関連・事務用機器	10	+9.2%	9
11	産業・工作機械	54	+8.1%	50
12	土木建設機械	156	-2.3%	160
13	輸送用機器	25	+6.2%	24
14	医療機器	41	+1.5%	41
15	商業用およびサービス機器	111	+35.7%	82
16	その他	87	-4.0%	90
17	金融・その他	3,166	-5.4%	3,348
18	ファクタリング	946	-1.8%	963
19	不動産関連	504	-11.3%	568
20	その他融資等	1,715	-5.5%	1,816
21	契約実行高 合計	7,245	+0.8%	7,187



(金額単位:百万円)

		14/3期第2四半期	15/3期第2四半期	16/3期第2四半期	17/3期第2四半期	18/3期第2四半期
		13年4~9月	14年4~9月	15年4~9月	16年4~9月	17年4~9月
1	売上高	355,762	368,040	403,832	403,766	<b>433,510</b>
		+0.8%	+3.5%	+9.7%	-0.0%	<b>+7.4%</b>
2	賃貸料収入	288,876	298,749	332,186	331,537	<b>354,996</b>
		+5.5%	+3.4%	+11.2%	-0.2%	<b>+7.1%</b>
3	割賦売上高	40,945	42,276	42,060	46,017	<b>47,185</b>
		-4.1%	+3.3%	-0.5%	+9.4%	<b>+2.5%</b>
4	営業貸付収入	17,373	17,382	17,249	16,699	<b>17,282</b>
		+0.5%	+0.1%	-0.8%	-3.2%	<b>+3.5%</b>
5	その他の売上高	8,566	9,630	12,335	9,513	<b>14,047</b>
		-55.0%	+12.4%	+28.1%	-22.9%	<b>+47.7%</b>
6	売上原価	292,579	303,307	323,759	328,257	<b>354,339</b>
		+1.5%	+3.7%	+6.7%	+1.4%	<b>+7.9%</b>
7	売上原価/売上高 (売上高売上原価率)	82.2%	82.4%	80.2%	81.3%	<b>81.7%</b>
		+0.5P	+0.2P	-2.2P	+1.1P	<b>+0.4P</b>
8	賃貸原価	237,987	245,812	261,306	264,033	<b>283,255</b>
		+1.9%	+3.3%	+6.3%	+1.0%	<b>+7.3%</b>
9	割賦原価	37,261	38,674	38,732	42,775	<b>44,000</b>
		-3.7%	+3.8%	+0.2%	+10.4%	<b>+2.9%</b>
10	資金原価	12,350	13,224	19,199	17,146	<b>21,071</b>
		+41.9%	+7.1%	+45.2%	-10.7%	<b>+22.9%</b>
11	その他の売上原価	4,979	5,595	4,520	4,302	<b>6,011</b>
		-32.3%	+12.4%	-19.2%	-4.8%	<b>+39.7%</b>
12	売上総利益	63,183	64,732	80,072	75,508	<b>79,171</b>
		-2.3%	+2.5%	+23.7%	-5.7%	<b>+4.9%</b>
13	売上総利益/売上高 (売上高売上総利益率)	17.8%	17.6%	19.8%	18.7%	<b>18.3%</b>
		-0.5P	-0.2P	+2.2P	-1.1P	<b>-0.4P</b>

(※)下段の%、P(ポイント)は前年同期比を掲載

(金額単位:百万円)

		14/3期第2四半期	15/3期第2四半期	16/3期第2四半期	17/3期第2四半期	18/3期第2四半期
		13年4~9月	14年4~9月	15年4~9月	16年4~9月	17年4~9月
14	従業員数	2,439	2,628	2,825	2,938	3,102
15	一人あたり売上総利益 (年換算・・・×2)	51.8	49.3	56.7	51.4	51.0
		-4.4%	-4.9%	+15.1%	-9.3%	-0.7%
16	販売費及び一般管理費	31,452	30,204	34,649	33,304	36,092
		-0.3%	-4.0%	+14.7%	-3.9%	+8.4%
17	人件費	13,055	13,589	15,867	16,436	17,843
		+12.6%	+4.1%	+16.8%	+3.6%	+8.6%
18	物件費	14,720	15,380	17,405	16,313	17,567
		+14.7%	+4.5%	+13.2%	-6.3%	+7.7%
19	貸倒関連費用	3,676	1,234	1,375	554	681
		-48.2%	-66.4%	+11.5%	-59.7%	+22.7%
20	OHR	44.0%	44.8%	41.6%	43.4%	44.7%
		+6.2P	+0.8P	-3.2P	+1.8P	+1.4P
21	営業利益	31,730	34,528	45,423	42,204	43,078
		-4.3%	+8.8%	+31.6%	-7.1%	+2.1%
22	営業利益／売上高 (売上高営業利益率)	8.9%	9.4%	11.2%	10.5%	9.9%
		-0.5P	+0.5P	+1.8P	-0.7P	-0.6P
23	経常利益	35,336	37,357	47,961	44,327	47,012
		-3.8%	+5.7%	+28.4%	-7.6%	+6.1%
24	特別利益	83	805	98	3,122	2,673
		-64.2%	+861.6%	-87.8%	+3,068.9%	-14.4%
25	特別損失	4	4	-	10	20
		-98.9%	+1.6%	-	-	+106.3%
26	親会社株主に帰属する 四半期純利益	20,892	22,523	28,930	29,173	31,682
		-1.4%	+7.8%	+28.4%	+0.8%	+8.6%

(※) 下段の%、P(ポイント)は前年同期比を掲載

(金額単位:百万円)

		14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期第2四半期
		14年3月末	15年3月末	16年3月末	17年3月末	17年9月末
1	純資産合計	534,250	621,344	642,366	686,378	<b>707,379</b>
		+14.1%	+16.3%	+3.4%	+6.9%	<b>+3.1%</b>
2	総資産額	4,497,502	5,035,676	5,121,253	5,388,844	<b>5,512,712</b>
		+7.7%	+12.0%	+1.7%	+5.2%	<b>+2.3%</b>
3	営業資産残高	4,017,419	4,540,920	4,626,455	4,876,553	<b>4,861,686</b>
		+8.2%	+13.0%	+1.9%	+5.4%	<b>-0.3%</b>
4	内貸貸事業	2,357,220	2,925,880	3,040,849	3,272,018	<b>3,244,280</b>
		+14.8%	+24.1%	+3.9%	+7.6%	<b>-0.8%</b>
5	内割賦販売事業	227,318	234,023	245,882	252,907	<b>253,261</b>
		+4.9%	+2.9%	+5.1%	+2.9%	<b>+0.1%</b>
6	内貸付事業	1,288,819	1,257,593	1,241,831	1,245,555	<b>1,241,263</b>
		+2.6%	-2.4%	-1.3%	+0.3%	<b>-0.3%</b>
7	内その他の事業	144,061	123,423	97,892	106,072	<b>122,881</b>
		-23.1%	-14.3%	-20.7%	+8.4%	<b>+15.8%</b>
8	破産更生債権等	33,223	33,434	27,921	34,144	<b>35,259</b>
		-27.9%	+0.6%	-16.5%	+22.3%	<b>+3.3%</b>
9	貸倒引当金	12,494	14,134	16,302	16,365	<b>15,174</b>
10	ネット破産更生債権等	20,729	19,300	11,618	17,779	<b>20,084</b>
		-31.2%	-6.9%	-39.8%	+53.0%	<b>+13.0%</b>

(※) 下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

(金額単位:百万円)

		14/3期 14年3月末	15/3期 15年3月末	16/3期 16年3月末	17/3期 17年3月末	18/3期第2四半期 17年9月末
11	自己資本比率	11.4%	11.8%	12.0%	12.2%	<b>12.3%</b>
		+0.7P	+0.4P	+0.2P	+0.2P	<b>+0.1P</b>
12	ROE	7.9%	8.0%	9.0%	8.4%	-
		-0.6P	+0.1P	+1.0P	-0.7P	-
13	ROA	0.9%	0.9%	1.1%	1.0%	-
		-0.0P	+0.0P	+0.2P	-0.1P	-
14	有利子負債	3,484,480	3,910,324	3,908,736	4,142,073	<b>4,279,534</b>
		+5.1%	+12.2%	-0.0%	+6.0%	<b>+3.3%</b>
15	間接調達	1,952,985	2,218,009	2,169,456	2,395,158	<b>2,405,587</b>
		+3.2%	+13.6%	-2.2%	+10.4%	<b>+0.4%</b>
16	直接調達	1,531,494	1,692,314	1,739,279	1,746,914	<b>1,873,946</b>
		+7.6%	+10.5%	+2.8%	+0.4%	<b>+7.3%</b>
17	内CP	762,300	830,000	853,600	835,900	<b>880,500</b>
		-5.4%	+8.9%	+2.8%	-2.1%	<b>+5.3%</b>
18	内リース債権流動化	164,413	173,539	168,869	137,484	<b>131,169</b>
		+17.7%	+5.6%	-2.7%	-18.6%	<b>-4.6%</b>
19	内社債	604,781	688,774	716,809	773,530	<b>862,277</b>
		+26.7%	+13.9%	+4.1%	+7.9%	<b>+11.5%</b>
20	直接調達比率	44.0%	43.3%	44.5%	42.2%	<b>43.8%</b>
		+1.1P	-0.7P	+1.2P	-2.3P	<b>+1.6P</b>

(※)下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

(金額単位:百万円)

2018/3期 第2四半期	三菱UFJリース(MUL) (単体)		日医リース MUL持分割合:100%		ディー・エフ・エル・リース MUL持分割合:95%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	235,008	+1.1%	18,419	+0.3%	10,534	+6.7%
売上総利益	32,688	+2.2%	1,474	-0.4%	868	-1.6%
営業利益	16,362	-4.2%	378	-19.0%	401	-12.5%
経常利益	14,408	-10.5%	407	-19.1%	409	-12.1%
純利益	11,011	-16.3%	260	-20.1%	283	-11.2%

2018/3期 第2四半期	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,952,176	-0.1%	97,964	-1.3%	66,404	+1.8%
総資産	3,983,504	+3.2%	100,869	-1.0%	68,191	+1.2%
純資産	446,627	+1.1%	14,162	+1.9%	11,834	+2.4%

(金額単位:百万円)

2018/3期 第2四半期	神鋼リース MUL持分割合:80%		カシオリース MUL持分割合:80%		ひろぎんリース MUL持分割合:80%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	15,046	+3.5%	5,724	+2.7%	8,423	+1.4%
売上総利益	1,066	+4.7%	493	+4.4%	840	-4.8%
営業利益	399	+14.4%	142	+58.8%	368	-17.7%
経常利益	408	+4.0%	164	+40.6%	379	-18.2%
純利益	256	-8.5%	109	+42.6%	259	-18.6%

2018/3期 第2四半期	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	88,227	-1.4%	32,180	-2.0%	59,236	+0.9%
総資産	94,380	-1.1%	33,091	-2.4%	61,573	+0.4%
純資産	8,977	+2.5%	12,080	+0.9%	11,928	+2.2%

(金額単位:百万円)

2018/3期 第2四半期	首都圏リース MUL持分割合:76%		中京総合リース MUL持分割合:70%		MMCダイヤモンドファイナンス MUL持分割合:50%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	15,115	+6.9%	3,494	-3.7%	8,716	-17.1%
売上総利益	1,889	+14.3%	278	-9.7%	4,714	-7.0%
営業利益	919	-0.0%	36	-62.7%	1,507	-22.1%
経常利益	960	-2.1%	49	-55.4%	1,866	-17.1%
純利益	658	-3.2%	32	-55.4%	1,280	-17.4%

2018/3期 第2四半期	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	140,270	+3.7%	18,025	-3.7%	239,142	-2.2%
総資産	144,887	+3.7%	18,980	-3.6%	259,506	-2.4%
純資産	16,188	+4.5%	5,823	+0.7%	26,275	+5.1%

(金額単位:百万円)

2018/3期 第2四半期	ディーアールエス MUL持分割合:100%		ダイヤモンドアセットファイナンス MUL持分割合:100%		御幸ビルディング MUL持分割合:98%		MULプロパティ MUL持分割合:100%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	13,064	-3.5%	3,748	+13.4%	3,443	+0.7%	22,838	+197.7%
売上総利益	1,131	+0.8%	2,293	+9.1%	1,842	+8.3%	1,585	-2.2%
営業利益	254	+14.6%	1,485	+14.2%	1,573	+10.0%	1,023	-19.5%
経常利益	253	+11.6%	1,529	+12.0%	1,433	+14.5%	1,056	-18.9%
純利益	171	+11.3%	1,052	+12.9%	938	+14.5%	731	-19.9%

2018/3期 第2四半期	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	49,007	-0.9%	209,916	+2.9%	66,047	+5.2%	110,811	-3.8%
総資産	51,463	-0.1%	212,102	+2.9%	69,259	+3.7%	162,700	-1.4%
純資産	6,389	+2.8%	31,419	+3.5%	26,688	+3.5%	11,813	+6.6%

### ◆太陽光関連の累計成約額

(単位:億円)

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期2Q
累計成約額	1,465	2,025	2,486	<b>2,711</b>
リース	1,017	1,243	1,398	<b>1,479</b>
デット	353	489	573	<b>625</b>
エクイティ	95	293	514	<b>606</b>
エクイティ比率※	6.5%	14.5%	20.7%	<b>22.4%</b>

※エクイティ比率は累計成約額合計に占めるエクイティ出資の割合

### ◆不動産関連ファイナンス残高推移

(単位:億円)

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期2Q
残高合計※1	2,633	1,761	1,290	1,566	<b>1,544</b>
デット	2,181	1,250	926	905	<b>836</b>
エクイティ	452	511	363	661	<b>708</b>
エクイティ比率※2	17.2%	29.0%	28.2%	42.2%	<b>45.9%</b>

※1: MULとMULリアルティインベストメント(MURI)の合算

※2: エクイティ比率はMUL・MURI合算残高に占めるエクイティ残高の割合

### ◆航空機リース関連の保有機体数およびターンオーバー率

	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期2Q
保有機体数※1	123機	140機	149機	169機	<b>176機</b>
ターンオーバー率※2	10.1%	13.5%	15.5%	19.2%	-

※1: Jackson Square Aviation (JSA)とMULの実行済保有機体数と成約済未実行機体の合計機数

※2: (期中購入機数+期中売却機数)÷(期初実行済保有機体数+期末実行済保有機体数)にて算出

2018年3月期2Qのターンオーバー率は、期中のため算出していない



## お問合せ先

コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-6865-3002



## 当社ホームページアドレス

<http://www.lf.mufg.jp/> (日本語)

<http://www.lf.mufg.jp/english/> (英語)





# 三菱UFJリース

本資料に掲載している情報は、資料作成時点での当社の見解や入手している情報に基づく将来予測等が含まれており、その情報の正確性や完全性を約束するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。将来に関する事項については、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。